

2019年7月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	35,936,622	36,827,351	97.6%
国内旅行	5,265,358	5,518,260	95.4%
外国人旅行	3,834,398	4,695,808	81.7%
合 計	45,036,379	47,041,421	95.7%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ6社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、ミキ・ツーリスト）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。

1. 海外旅行

海外旅行は、夏休み需要にゴールデンウィークの反動減がややみられた影響により、前年同水準となりました。方面別では、引き続き人気アニメとのタイアップツアーが好調のシンガポールが前年同月比 124%となったほか、チャーター便の展開を開始したグアムについても同 121%と増加いたしました。チャネル別では、引き続きオンラインが好調に推移しており、手配旅行が同 108%、エアー＋ホテルが同 163%、添乗員付きツアーのインプレッツが同 165%と、いずれの商品種別においてもプラスで推移いたしました。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前年同月比 97.6%の 359 億 3,662 万円となりました。

< 海外旅行 方面別・商品別・チャネル別データ >

① 方面別

方 面	前年同月比
アジア	95.6%
オセアニア・南太平洋	98.7%
ハワイ・ミクロネシア	106.2%
欧州・中近東・アフリカ	101.8%
北米・中南米	87.2%

② 商品別

商 品	前年同月比
手配旅行	91.0%
企画旅行	107.0%

③ チャネル別

チャネル	前年同月比
店舗	96.4%
オンライン	115.7%

